

## 平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		インフォメーションボード設置				所管	文化産業観光部 観光課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	43	計画事業名	インフォメーションボード整備					事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出								[事業開始] 平成14年度 [終了予定] - 年度
		[小 柱] (3)おもてなし環境の整備								
		[施策] ①来街者にやさしいまちづくり								
	根拠法令等	その他		〔法令等名〕	なし					
	事業対象	観光客及び区民								
	事業目的	国際観光都市として4か国語(日・英・中・ハングル)併記の観光案内板や英字案内板を整備することで、台東区を訪れる国内外の旅行者または区民の利便性及び回遊性の向上を図る。								
事業内容	4か国語(日・英・中・ハングル)併記の観光案内板や英字案内板(名所・旧跡)等の整備及び維持管理。 ○ 表示する地図の範囲は、1キロメートル四方とし、(財)モビリティ財団で策定したピクトグラム記号、または国や都の基準に準じたピクトグラム記号を採用する。 ○ 地図上には、交通施設、公共施設、文化施設、史跡名勝、利便施設、観光関連施設などを表示。									
委託の有無	一部委託		委託内容	案内板製作、設置、盤面更新、維持管理調査						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	表示内容の見直し数(基/年)		基	0	1	6	33		
		成果指標	案内板充足率(基/1km <sup>2</sup> あたり)		基	8	6	6	6	
	案内板設置基数		基	97	77	77	77			
	決算額 (単位:千円)					230	11,116	42,083		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				1,700	2,406	5,350		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				231	11,116	42,084		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				1,931	13,522	47,434		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	4,929	23,800				
一般財源(区負担額)				1,931	8,593	23,634				
前回評価から改善した事項	東京都が策定した「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針」を基に33基の盤面更新等を行い、表示内容が充実し、また、多言語表記の改善が進んだ。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	既設案内板の維持管理及び「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」等に沿って、東京観光財団の補助事業を活用し、台東区を訪れる国内外の旅行者及び区民の利便性及び回遊性を向上させるため、表記の統一及び新規設置を進める必要がある。							
	効率性	3	直射日光や風雨等への耐久性が必要であり、また、社会情勢の変化に対応するため数年で盤面更新する必要があることから、案内板には特殊な部材や加工を施している。設置(建替え、盤面更新)時には高コストとなるが、耐用年数を長くし容易に盤面更新を行える構造とすることで、コストの低減を図っている。							
	手段の適切性	3	交通機関の出入口付近や観光スポット周辺、主要道路沿い等を中心に案内板が設置されている。既存観光案内板等の維持管理を行いつつ、案内板の適切な新規設置を行う。							
	目的達成度	3	既存案内板については情報の更新や経年劣化等の維持管理を引き続き行う。旅行者の更なる利便性向上が図れる場所には、地域の要望や設置調査の結果を基に案内板を新設していく。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人旅行者の増加が見込まれることから「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」等に沿って、外国人の目線に立った案内板の新規設置を進め、さらに充実を図る必要がある。							拡大			